

名画（美術）鑑賞友の会 鑑賞会事前学習会報告

日時 2016年7月27日

場所 立教松本楼にて

テーマ 「ルノワール展」新国立美術館

講師 大箸渡さん

鑑賞会予定日 2016年8月10日

（すでに鑑賞報告書を8月29日掲載済み）

『ルノワール』 ピエール＝オーギュスト・ルノアール



フランスの印象派の代表的画家

風景画、花などの静物画もあるが、代表作の多くは人物画である。晩年は豊満な裸婦像などの人物画に独自の境地を拓いた。

1841.2.25 フランス中南部 リモージュに生まれる

1861年 シャルル・グレールのアトリエ（画塾）に入る

1962年 官立美術学校に入る（21才）

1919.12.3 没（78才）

長男 ピエールは俳優、次男 ジャンは有名な映画監督

ルノワールの作品は、4000点

ルノアールの逸話

師のグレールが「君は自分の楽しみのために絵を描いているようだね」、ルノワールは「楽しくなかったら絵なんか描きませんよ」

「芸術が愛らしいものであってなぜいけないんだ。世の中は不愉快なことだらけじゃないか」

1.印象派とは

印象派の特徴は、目に見える筆のストローク、戸外制作、空間と時間による光の質の変化の正確な描写、描く対象の日常性、などがあげられる。

印象派は戸外で制作することで、瞬間的な日の光だけでなく、それが変化していく様子も捉えられることを見つけた。さらに細部ではなく全体的な視覚的効果を狙っ



て、(従来のように滑らかさや陰影にこだわらず) 混色と原色の絵の具による短い断続的なストロークを並べて、鮮やかな色彩をそれが振動しているかのように変化させた。

(主な印象派の画家)

ルノアール、モネ、シスレー、ピサロ、セザンヌ、
ドガ、モリゾ、ギョマン

2.ルノアール展 (2016.4.27～8.22 新国立美術館)

オルセー美術館とオランジェリー美術館のルノワール作品が一堂に会することで実現する美の競演



(主な展示作品)

「陽光のなかの裸婦」、「読書する少女」、
「草原の坂道」、「ぶらんこ」、
「ムーラン・ド・ギャレットの舞踏会」(日本初公開)、「田舎のダンス」、「都会のダンス」、
「ピアノを弾く少女たち」、
「横たわる裸婦 (ガブリエル)」、
「浴女たち」(日本初公開)

以上